



郡山テクノポリス地域戦略的アライアンス形成会議 役員会・総会・講演会を開催

7月26日に、郡山テクノポリス地域戦略的アライアンス形成会議の役員会及び総会、講演会を開催しました。

令和3年度の事業報告及び収支決算、令和4年度の事業計画及び収支予算について、原案のとおり承認されました。また令和4年度役員を役員会で決定し、総会で報告しました。

総会終了後には、エネルギー・エージェンシーふくしまの柿崎隆夫氏を講師に迎え、カーボンフリー時代のものづくりをテーマに講演会を開催いたしました。



提出議案を慎重審議(総会)



丁寧で明快な説明(講演会)

DX を無料で学べるセミナー(第2回・第3回)に参加しませんか



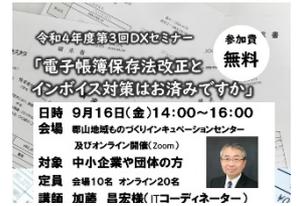
「デジトレ診断セミナー」

日時:9月9日(金)14時~16時
会場:郡山市大槻ふれあいセンター
対象:中小企業の経営者
定員:30名
内容:100問の質問に答えることで、
自社のデジタル力やデジタル活用を認識する



「電子帳簿保存法改正とインボイス制度対策」

日時:9月16日(金)14時~16時
会場:INC 及びオンライン
対象:中小企業、団体、自治体等
定員:30名
内容:電子帳簿保存法改正とインボイス対策のポイント



【コラム】郡山テクノポリス地域戦略的アライアンス形成会議会員企業から

当社は、明治30年に木材商として開業後、製材業や製箱業、建築業と少しずつ業態を変え、昭和35年頃から現在の段ボール製造業を始めました。梱包や輸送用として利用される段ボールは、お客様の大切な製品を傷や凹み等から守るのに重要なため包装の基礎知識や役割、包装材料や容器についての包装士の資格を全営業員に取得させています。

梱包方法は、多様化しており、梱包コストの削減や環境に配慮した梱包が求められています。また段ボールの主な原料は、家庭や会社から排出される古紙を利用することで森林保護にもつながり、SDGsの取り組みにもつながります

近年では、自社開発製品として段ボールを活用した製品作りにも力を注いでいます。「製品を運ぶ、包む、守る」以上の付加価値を付けて新たなビジネスができないかと考えて開発事業部を立ち上げ、2008年にもものづくりインキュベーションセンターに入居しました。そして軽さと強さの両方を叶えるハニカム構造(正六角柱を隙間なく並べる構造)を紙で作る、環境にやさしいペーパーハニカム段ボールという素材が誕生しました。

この素材を利用して、だんぼっち(段ボール製簡易防音室)や組立型ER(緊急用手術室)、演台、飛沫防止パネル等を開発販売してきました。組立型ERは、熊本地震で役立ちましたし、飛沫防止パネルも新型コロナウイルス感染症拡大防止の一役となったのでうれしいです。

今後は、段ボール製造だけにとどまらず、世の中のニーズや社会変化に対応して神田産業としてどうありつづけるか社員全員で考え、新事業なども企画したいですね。



郡山テクノポリス地域戦略的アライアンス形成会議
神田 雅彦 様
(神田産業株式会社 代表取締役)

